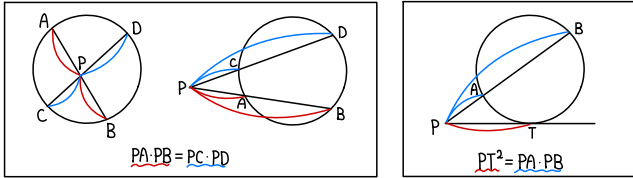


・方べきの定理

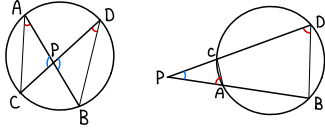


(証明)

$\triangle PAC$ と $\triangle PDB$ において

$$\angle APC = \angle DPB$$

$$\angle CAP = \angle DBP$$



2組の角がそれぞれ等しいから

$$\triangle PAC \sim \triangle PDB$$

よって、対応する辺の比が等しいから

$$PA : PD = PC : PB$$

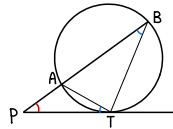
$$\therefore PA \cdot PB = PC \cdot PD \quad \square$$

(証明)

$\triangle PAT$ と $\triangle PTB$ において

$$\angle APT = \angle TPB \quad (\text{共通})$$

$$\angle ATP = \angle TBP \quad (\text{接弦定理})$$



2組の角がそれぞれ等しいから

$$\triangle PAT \sim \triangle PTB$$

よって、対応する辺の比が等しいから

$$PT : PB = PA : PT$$

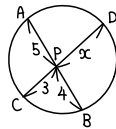
$$\therefore PT^2 = PA \cdot PB \quad \square$$

(例1) 右の図において、 x の値を求めよ。

方べきの定理より $PA \cdot PB = PC \cdot PD$ であるから

$$6 \cdot 4 = 3 \cdot x$$

$$x = \frac{20}{3}$$

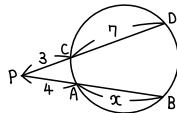


(例2) 右の図において、 x の値を求めよ。

方べきの定理より $PA \cdot PB = PC \cdot PD$ であるから

$$4(4+x) = 3 \cdot (3+7)$$

$$x = \frac{7}{2}$$



(例3) 右の図において、 x の値を求めよ。

方べきの定理より $PT^2 = PA \cdot PB$ であるから

$$x^2 = 3 \cdot (3+6)$$

$$x > 0 \text{ より}$$

$$x = 3\sqrt{3}$$

